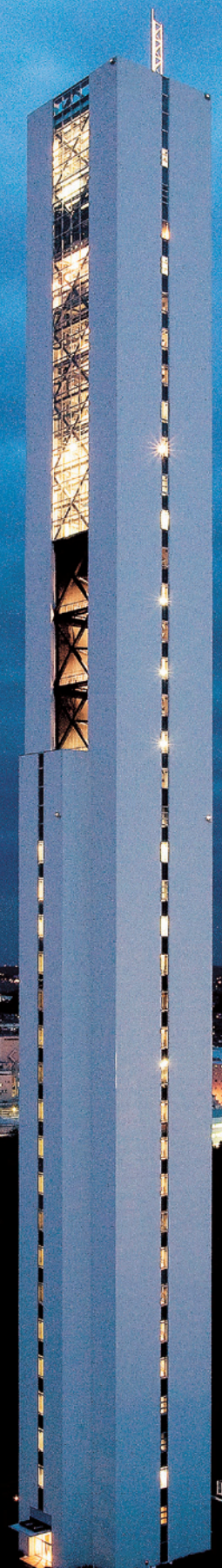


Ibaraki Association of Architects & Building Engineers

けんちく茨城

No. 78 February, 2012



2012年10月19日に開催決定!
第55回 建築士会全国大会
「いばらき大会」

[報告]
平成24年新春賀詞交歓会

[建築作品紹介]
G1TOWER



社団法人
茨城県建築士会

会報 けんちく茨城

社団法人 茨城県建築士会 / 2012年2月 第78号

目次

	年頭のごあいさつ 社団法人 茨城県建築士会会長 柴 和伸	1
[速報!]	2年ぶりの開催となる 建築士会全国大会 [いばらき大会] の概要決定!	2
[報告]	平成24年新春賀詞交歓会	4
[建築作品紹介]	G1TOWER	8
[シリーズ]	先輩会員を訪ねて 阿部未吉氏、中村 昌平氏、木村 利氏インタビュー	10
[トピックス]	本会副会長 武村実氏、 平成23年度国土交通大臣表彰を受賞	11
[プロジェクト報告]	被災された県民の方々の住宅建設を支援する「安心・安全な木造住宅プロジェクト」 被害の大きかった北茨城市で住宅相談会実施	12
[まちづくり委員会報告]	震災後の茨城の“まちづくり”を検証する 「まちづくりシンポジウム2011」を開催	13
[会員委員会報告]	日帰り見学会報告 「羽田国際線ターミナル」と「浅草」見学	14
[女性部報告]	わくわくセミナー 「暮らしを楽しむテーブルコーディネート」に参加して	15
	ラブアークセミナー報告 「そうだ、美術館へ行こう!」	16

会報 けんちく茨城

題字 橋本 昌 茨城県知事

表紙写真 G1TOWER

設計・監理 日立建設設計・清水建設
設計共同企業体
所在地 茨城県ひたちなか市市毛1070番地
竣工 2010年2月
建築面積 400㎡
延床面積 2,248㎡
構造 RC造 一部SRC、S造
階数 地下1階 地上9階

2012年2月 第78号

発行 平成24年2月7日 (年3回発行)
次回発行 平成24年6月5日予定
発行部数 2,950部
発行所 社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸
〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F
TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330
Eメール kyy05413@nifty.com
編集 情報・広報委員会
デザイン 有限会社平井情報デザイン室
印刷所 株式会社あけぼの印刷社

建築の専門家集団として、 支援を“かたち”にする年に。

社団法人 茨城県建築士会

会長 柴 和伸



2012年の抱負を柴会長に語っていただきました。

震災後の本格的な復興と支援事業の年

昨年3月11日に発生した東日本大震災では被災地での応急危険度判定、市町村における被災住宅の相談、現地における被害調査、診断、罹災証明の判定協力など、自らが被災者であるにも関わらず多くの会員の方々の協力を得ることができました。

本会の活動としては、北茨城市で6.0m近い大津波を受け、流失した五浦「六角堂」の再建計画に、支援メンバーとして会員6名が参加、この春の完成に向け、復興の一角を担うことができました。

また、被災者の住宅相談等を踏まえ、被害を受けた方への住宅再建支援事業として「安心・安全な木造住宅プロジェクト」を発足しています。これは、被災者に向け安価で良質な住宅を提案するもので、現在数件が具体的に進んでいます。今後は広報活動を重視し、さらに多くの方が支援を受けられるよう計らっていきたいと考えています。

県内では、数年前から昭和56年以前に建築された木造住宅の耐震診断を行ってきましたが、診断後の耐震改修が進まず、耐震化が遅れています。今後予想される大震災に備えて耐震化は急務となっています。その体制づくりとして昨年9月に検討委員会を発足し、茨城版の「木造住宅耐震マニュアル」を編集して発行することを予定しています。

さらに、政府が新たな事業として打ち出した「公共施設の木造建て替え法案」を受け「木構造設計技術者の育成プロジェクト」検討チームを発足、今後具体的に内容検討を行っていきます。建築士事務所協会との合同事業として進められてきた環境

問題を考える「建築エコロジープロジェクト」についても、本年をまとめの年とし、マニュアル書の発行等を考えています。

10月に開催される全国大会について

基本的には2012年も、士会本来の広域的な使命、会員皆さんに対する情報の提供、研修など皆さんにとって役に立つ活動、事業の内容を整理し充実させて、高めてゆくことをこれからも継続していきたいと思います。中でも建築士のための講習会の実施、建築士法、政省令等の改正に伴う情報、講習会の案内など常に新しい情報を、ホームページ、発送物等により今後も会員の皆さんにお伝えしていきます。

なお、今年の大きな事業として、10月に第55回建築士会全国大会が、ここ茨城において開催されます。昨年は第54回大会が大阪で開催される予定でしたが、東日本大震災の影響により中止となり第53回佐賀大会以来の2年ぶりの大会となります。初めての本県での開催となる大会の準備に向け、実行委員会が結成され、現在内容の検討を行っています。

会員増強について

廃業や経済的事情、高齢化などにより退会者が増え、会員の減少が続いています。会員の増強に関しては、日頃から会員の皆さんにもお願いしているわけですが、なかなか増加に至りません。士会の活性化のためには、新たな会員が、特に若い会員の方が加わるのが、必要不可欠であります。本年もぜひ皆さんの協力をお願いします。

(聞き手=情報・広報委員会 浅野 祐一郎/石黒 幸喜)

2年ぶりの開催となる 建築士会全国大会 [いばらき大会] の概要決定!

第55回建築士会全国大会 [いばらき大会] が、10月19日(金)に開催されます。茨城での開催は初となります。また、昨年大阪で予定されていた第54回大会が、東日本大震災の影響で中止となったため、全国大会としては、一昨年の第53回佐賀大会以来、2年ぶりの開催となります。

いばらき大会のメインテーマは「常陸国いばらきで語ろう60年の歩みと未来への創造」です。県民文化センターをメイン会場として、水戸プラザホテルやホテルレイクビュー水戸、水戸芸術館を会場にさまざまな催しを実施します。さらに、翌日のエクスカージョンは栃木県まで足を伸ばしての一泊コースを含め、全8コースをご用意する予定です。

大会プログラムの主なところは次の通りです。

10月18日(木)

(時)	水戸プラザホテル	ホテルレイクビュー水戸	三の丸ホテル
13			
14	記者会見		
15		まちづくり賞 発表会 及び公開選考会	
16	理事・ 士会長会議		
17			建築士 フォーラム
18	歓迎懇親会	全国まちづくり 委員長会議	
19			

10月19日(金)

(時)	県民文化センター	水戸芸術館	水戸プラザホテル
8			
9	総合受付 物産品販売・休憩・飲食コーナー		
10			
11	交流セッション [景観まちづくり支援 タスクフォース]	茨城会 [五浦六角堂の再建]	
12	[ヘリテージ保全活用 支援タスクフォース]		
13	[女性委員会]		
14	[まちづくり委員会]	記念講演 A [水戸徳川家 第15代 徳川斉正]	
15	[青年委員会]	記念講演 B [建築家 妹島和世]	
16		オープニングアトラクション	
17		大会式典	
18			
19		みんなの広場	大懇親会

10月20日(土)・21日(日)

交流見学会(エクスカージョン) | 1日、2日コース合わせて8コース。茨城県内、県内～栃木県、県内～千葉県



「60年の歩み」と
「未来への創造」

ひたちのくに
常陸国
いばらきで語ろう

鹿島神宮

国営ひたち海浜公園

五浦六角堂

水戸芸術館 (写真提供: 水戸芸術館)

袋田の滝

JR日立駅

水戸・偕楽園

第55回 建築士会全国大会 **「いばらき大会」**

2012年10月19日 | 会場 **茨城県立県民文化センター**

[主催] 社団法人日本建築士会連合会 | [共催] 社団法人日本建築士会連合会 関東甲信越ブロック会
[主管] 社団法人茨城県建築士会 | [後援] 国土交通省、茨城県、水戸市、茨城新聞社、茨城放送、NHK水戸放送局、
水戸コンベンションビューロー、社団法人茨城県建築士事務所協会、財団法人茨城県建築センター



平成24年 新春賀詞 交歓会

平成24年1月20日(金) 16:00～
水戸市・三の丸ホテル 4階「ステラの間」

[式次第]
開会の言葉/会長あいさつ/来賓あいさつ/
来賓紹介/乾杯/賀詞交歓/大抽選会/中締め



小野寺 誠一
茨城県知事代理/
茨城県土木部都市局長

岡田 広
参議院議員

高橋 靖
水戸市長/
本会顧問



白田 信夫
県議会議員/
本会顧問

田所 嘉徳
県議会議員/
本会顧問

石川 多間
県議会議員/
社茨城県林業協会会長



横須賀 満夫
社茨城県建築士
事務所協会会長

柴 和伸
本会会長

新春の恒例行事となった平成24年の新春賀詞交歓会が1月20日(金)三の丸ホテル「ステラの間」において開催された。今回は来賓、会員、賛助会員を合わせて270名が参加。

開会挨拶の後、主催者側の柴会長から、昨年3月に発生した東日本大震災では被災建物の応急危険度判定活動、その後の住宅相談など多くの会員に協力いただいたこと、また、10月にはここ茨城で初となる全国大会が開催されるので、これを機に今年は本格的な復興の年となるよう一丸となって頑張っていきたい、と今年の抱負を述べた。



乾杯!

来賓挨拶では橋本県知事代理小野寺氏、岡田参議院議員、高橋水戸市長、白田県議会議員、田所県議会議員より、また、関係団体代表として石川県議会議員より祝辞をいただいた。

建築士事務所協会横須賀会長による乾杯の発声のあと、祝宴に入り、会場のあちらこちらで和やかで楽しい交流の図が繰り広げられた。

会の後半では、賛助会員から提供いただいた景品が当たる抽選会が開催され、最後には豪華な液晶テレビも登場して大いに盛り上がった。祝宴は盛況のうちに進み、武村副会長の中締めにより終了した。

大震災から10ヵ月が過ぎましたが、福島原発事故をはじめ解決していない問題も多く、本格的な復興にはまだまだ時間がかかると予想されます。が、今年は参加人数も多く、皆さん元気な笑顔で、明るい兆しが見えた賀詞交歓会となりました。皆さんに幸多き年であることをお祈り申し上げます。

(報告=情報・広報委員会)



「華やかな会になって何よりですね」



「今年も一步一步誠実にいきましょう!」



「仲間との交流で得たものを生かして、いっそう仕事に邁進していきたいと思えます」

「昨年得た貴重な体験を忘れず、新しい年を歩んでいきましょう!」



「実り多き1年にいたしましょう」

「健康で元気に過ごせる1年でありますように」



復興を遂げ、飛躍する年に。
皆で力を合わせてまいりましょう。



「なんと! 液晶テレビが当たりました!!」



「日本酒をご提供します!」



平成24年 新春賀詞交歓会参加者名簿

*当日出席された方のお名前を掲載しています



ご来賓

茨城県知事代理 茨城県土木部都市局長	小野寺 誠一	日本建築構造技術者協会茨城代表幹事	斎藤 章
参議院議員 自由民主党茨城県連会長	岡田 広	茨城県管工事業協同組合連合会会長	横須賀 武士
水戸市長 建築士会顧問	高橋 靖	茨城県鉄筋業協同組合理事長	大平 時彦
茨城県議会議員 (社)茨城県林業協会会長	石川 多聞	茨城県塗装工業組合理事長	鈴木 博巳
茨城県議会議員 建築士会顧問	白田 信夫	(一社)茨城県貯水槽維持管理協会会長	稲葉 貞幸
茨城県議会議員 建築士会顧問	田所 嘉徳	茨城県鐵構工業協同組合理事長	奥津 典一
参議院議員 長谷川大紋秘書	小泉 正	(社)茨城県空調衛生工事業協会会長	手面 和夫
茨城県土木部技監兼都市局建築指導課長	野澤 謙次	(社)茨城県消防設備協会副会長	瀬谷 利雄
茨城県土木部技監兼営繕課長	大津 博之	(社)茨城県宅地建物取引業協会副会長	須賀田 二郎
水戸市都市計画部建築指導課長	打越 直行	(社)茨城県電設業協会理事	園部 昌之
日立市都市建設部建築指導課長	遠藤 弘	茨城県木材協同組合連合会専務理事	根本 学
土浦市都市整備部建築指導課長	坂本 淳	(社)茨城県水質保全協会専務理事	小関 雅志
(社)茨城県建築士事務所協会会長	横須賀 満夫	(財)茨城県建築センター長	春田 茂桂
(社)茨城県建築士事務所協会副会長	舟幡 健	茨城新聞社取締役水戸支社長	桜井由起夫
(社)茨城県建築士事務所協会副会長	岡野 芳徳	日本工業経済新聞社水戸支局長	小泉 孝司
(社)日本建築学会関東支部茨城支所長	増澤 敬	日本建設新聞社水戸総局長	井上 哲郎
(社)日本建築家協会関東甲信越支部茨城地域会長	天 茂彦	(社)茨城県建築士会相談役	村田 省吾
(社)茨城県建設業協会専務理事	田山 寛治	(社)茨城県建築士会相談役	田中 實
茨城県設備設計協会会長	菊地 繁		(敬称略、順不同)



正会員

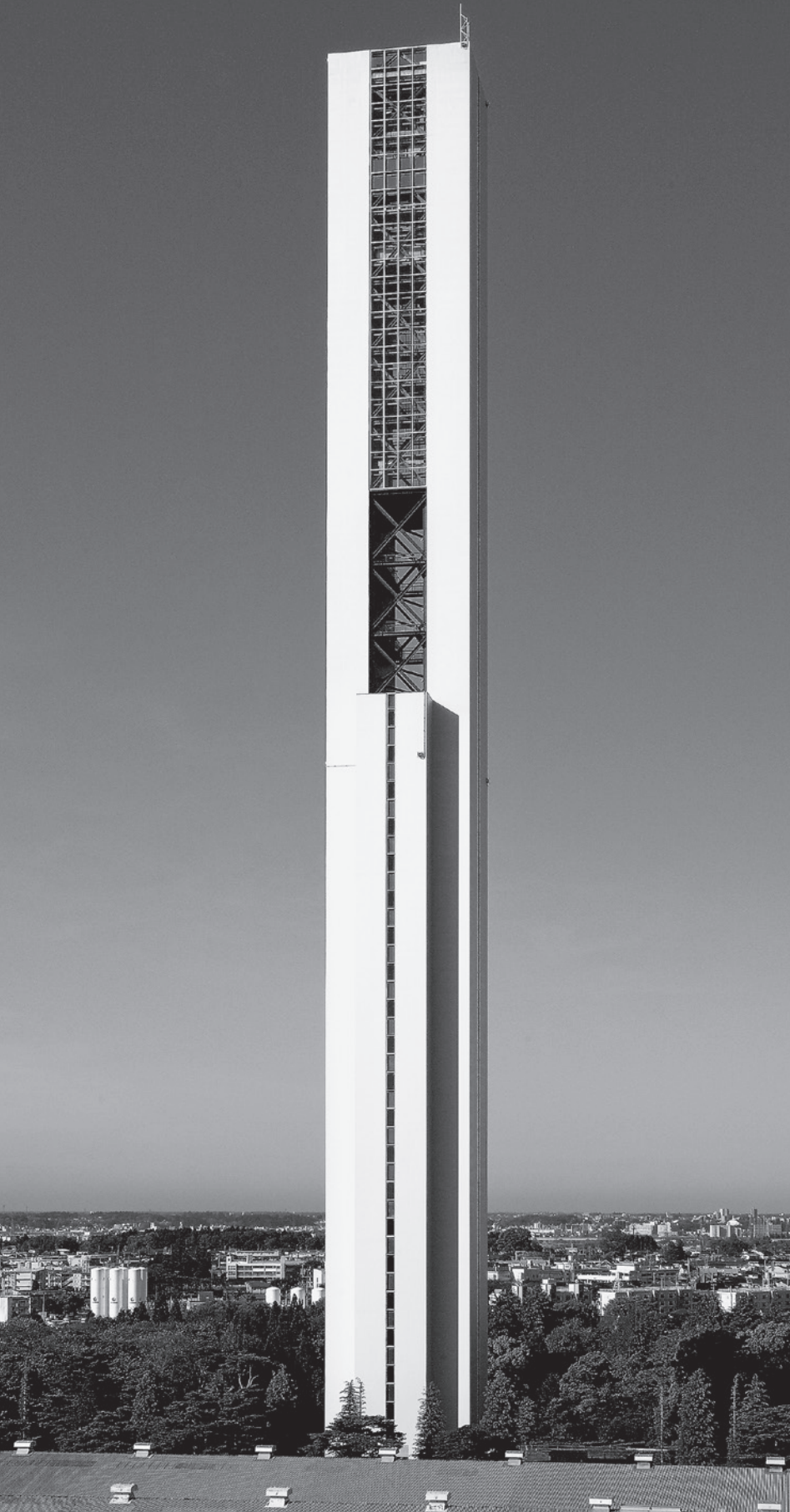
北茨城支部	迫 祥三郎	県央支部	赤羽 利治	県央支部	佐藤 昌樹
〃	茅根 信男	〃	浅野 祐一郎	〃	椎名 康一
久慈支部	市川三和子	〃	安達 芳男	〃	篠根 玲子
〃	梶 ひろみ	〃	荒川 芳和	〃	柴 和伸
〃	木村 千明	〃	飯島 隆	〃	鈴木 弘
〃	藤井 耕市	〃	飯島 洋省	〃	関根 慎一
〃	藤 馨	〃	池崎 栄二	〃	関根 貴雄
高萩支部	棚谷 哲夫	〃	井坂 光宏	〃	高槻 一雄
〃	豆澤 時雄	〃	石川 啓司	〃	田中 健一
日立支部	池田 剛	〃	石黒 洋子	〃	田中 正己
〃	石黒 幸喜	〃	市毛 純一	〃	戸倉由美子
〃	菊池 積	〃	一毛 裕之	〃	富田 武俊
〃	熊田 昭二	〃	内山 一志	〃	富田 正美
〃	斎藤 則夫	〃	海老澤 司	〃	中崎 妙子
〃	清水 忠	〃	遠藤 洋三	〃	西平 裕子
〃	富田 義光	〃	大内 常男	〃	沼田 弘次
〃	松崎 行夫	〃	大槻 薫	〃	根本 勝義
〃	三澤 俊介	〃	大部 淳一	〃	根本 洋一朗
ひたちなか支部	大内 賢一	〃	岡山 伸行	〃	塙 万治
〃	清水 洋一	〃	小川 憲一	〃	塙 秀之
〃	山田 博則	〃	小川 雅良	〃	早川 富二雄
鹿島支部	内芝 良吉	〃	小沼 隆志	〃	古木 章
		〃	加藤 宜之	〃	松下 理
		〃	久野 正行	〃	松本 敬一郎
		〃	小口 秀久	〃	宮本 久
		〃	小室 晶	〃	盛田 周作
		〃	小室 克己	〃	柳下 文江
		〃	酒寄 光一	〃	山田 一博



[建築作品紹介]

G1TOWER

“Global No.1”を目指す企業の象徴としてそびえ立つ、
世界一の高さのエレベーター研究塔。



EVホール



風孔

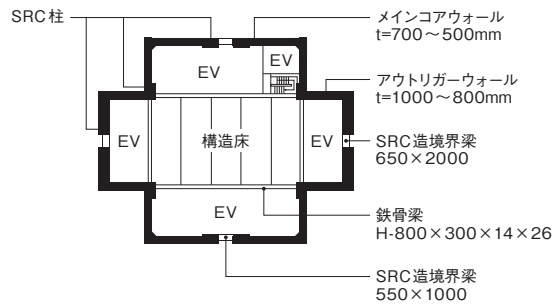


見学歩廊

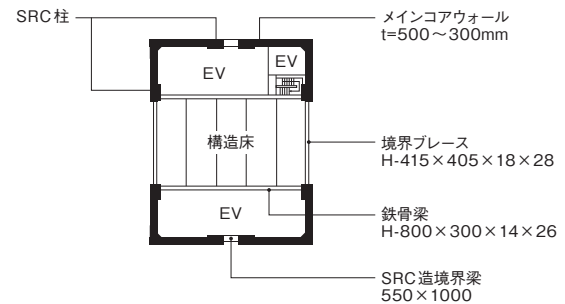
G1TOWER

所在地 茨城県ひたちなか市市毛1070番地
 発注者 (株)日立製作所 都市開発システム社
 設計・監理 日立建設設計・清水建設 設計共同企業体
 竣工 2010年2月

建築面積 400㎡
 延床面積 2,248㎡
 施工者 清水建設株式会社
 構造 RC造 一部SRC、S造
 階数 地下1階 地上9階



低層部床梁伏図
1FL～1FL+110m



高層部床梁伏図
1FL+110m～1FL+203m

【施設概要】

建設地より20kmほど離れた場所からも望むことができ、周辺地域で強烈にその存在感を知らしめている新エレベーター研究塔の施設概要をご紹介します。

『世界一の技術を生み出し、世界一品質の高い製品を作る』『グローバルナンバーワン』を目指すという思いから『G1TOWER』と名付けられました。

この建物では、世界でも最高速クラスの定格速度となる1分当たり1000m以上のエレベーター実証実験や、世界最大級となる積載質量5トンの研究を行い、高速走行の際の乗り心地の良さを向上する制振装置や昇降路の省スペース化などの開発を行っています。

高さは、213.5mで、エレベーター研究塔としては世界一の高さ*であり、茨城県でも建築物として県内一の高さです。

【特徴】

1. 構造は鉄筋コンクリート構造を採用

計画時、高騰する鉄骨材料価格の影響を抑えるため、工期的にも鉄骨造と同工程である鉄筋コンクリート構造を採用しました。(高強度コンクリートの最大値で F_c51)

2. 基礎は土木工法を採用

現状地盤から基礎深さの18mを掘削する方法として、切梁工法は工期とコストの面で採用せず、基礎の引抜き、山留め、型枠を兼用する円筒形の地中連続壁工法を採用しました。塔の転倒対策として連続壁を支持層に13m貫入させ、厚さ18mのコンクリート底盤で構築しています。

3. 構造とデザイン性の融合

躯体はRCコアウォールをSRC造の梁と鉄骨ブレースで連結させてハイブリッド架構にし、風にも地震にも強い構造としています。低層棟を高層棟の両脇に配置させ

ることで、構造的にアウトリガー(安定脚)の機能を持たせると同時に、風孔を含むスリット部により、シンプルなデザインとしています。

4. 風孔の効果

塔の中間にある特徴的な風孔については、地上110mから140mに大きな開口を設けることで、暴風時も建物の揺れを低減出来るようにし、効果として最大で約30%の風圧力低減を実現しています。

5. 他の特徴

上層階にはアクティブマスダンパーを設置しており、長周期振動、暴風時を再現した状態でエレベーターの昇降試験を行うための強制加振が可能です。また、同じく上層階には展示パネルを設置した見学歩廊があり、県内一の高さからの展望は良好で来場された方々からも高評価を得ているようです。

*2010年3月現在 日立調べ

士会会員として長きにわたり活躍されてきた先輩方を訪問し、お話を伺うコーナー。第16回となる今回は、昭和43年入会の阿部 末吉氏、中村 昌平氏、昭和47年入会の木村 利氏の御三方を訪問し話を伺いました。



「被災後の石巻市への視察が忘れられない体験です」

阿部 末吉 氏 (北茨城支部)

昭和10年生まれ／昭和43年入会／会員歴44年

[主な経歴] 出身は新潟県。新潟にて建築大工修行後、北茨城に移り住み、昭和35年頃に阿部建設を設立。昭和38年に建築士の資格を取得。北茨城市内を中心に、主に個人住宅の仕事を行ってきた。7、8年前に腰を悪くし、現場の仕事はリタイアして、現在は妻と長男夫婦、孫2人の6人で暮らしている。建築士会の活動としては、長きに渡り支部の理事として活躍し、現在でも会計監査役として会の活動に参加。実直な人柄にまだまだ多くの厚い信頼が寄せられる、会員歴44年のベテラン会員である。

——北茨城での震災の被害はいかがでしたか。

自宅が天津港の近くのため、津波の影響で河川が氾濫し、車が流されました。幸い家は漏水を免れましたが、その日の夜は近くの小学校に避難しました。海岸沿いは、流された建物も多かったです。

——会の活動で印象に残るのは？

昨年10月に県北協議会の視察で、被災後の岩手県石巻市に行ったこと。想像以上に津波の被害は大きく、津波の恐ろしさ、復興の困難さを知りました。体調面から現役は退きましたが、今後も少しでも会の発展のお役に立てればと思っています。



「常に職人の心意気と手わざを引き出す図面を書く」

中村 昌平 氏 (県央支部)

昭和16年生まれ

[主な経歴] 昭和41年明治大学卒。建築家堀口捨己の影響を受け、師に故木村徳国、早川正夫、故杉山英男、内田祥哉らを持つ。大学卒業後、東京の設計事務所を経て、水戸市で(株)樹設計事務所を設立。現在は樹・中村昌平建築事務所として、地元笠間市(旧友部町)で設計活動を続けている。木造建築が専門で、主な作品に「偕楽園公園センター」、「道の駅みわ北斗星」などがあり、受賞歴も豊富。日本の文化、和の精神を尊び、次代の職人を育て技術を伝えていくことにも強い信念をもって取り組み続けている。日本人としての気概にあふれる先輩会員である。

——建築家としての信条を教えてください。

佳き建築は、末端の「職人達の心意気と手わざ」から生まれる。その職人達の心意気と手わざを無言の内に引き寄せ、引き出す引力が設計図に存在する。引力を持つ図面を常に書く事が、設計報酬を頂く者＝設計者の務めと己に云い聞かせ、仕事をしています。

——趣味として続けていることは？

山林散策。日々作意を抱き仕事をしているが、里山の木々、野草はありのままの自然体でありながら、美しい姿を見せている。その自然体の精神性、姿を学び実践するため、近くの里山に入っています。



「たとえば技は拙くとも、誠実・真摯であることを大切に」

木村 利 氏 (県央支部)

昭和17年生まれ/昭和47年入会/会員歴40年

【主な経歴】水戸一高卒業後、日大理工学部に進み建築を学ぶ。卒業後の1964年に水戸に戻り、三上建築事務所に入所し構造設計を担当する。その後、構造家として名高い横山不学の都内の事務所へ出向し、構造設計を学ぶ。建築家・前川国男の事務所が同一のビル内にあり、代表作のひとつ「蛇の目シン本社ビル」の構造設計に携わったことが当時の思い出。その後、水戸市内の星野建築設計事務所を経て、1973年に独立しヤマト建築設計事務所を開設。ヤマトの名称は、実家が営む味噌製造業の屋号「大和」から取っている。

—会の活動で印象に残ることは？

県青年部長として関ブロ大会で研究発表をしたり、連合会で委員会活動に携わったり、木造建築士の資格を新設する際の審議員を務めたことなど、よい思い出がたくさんあります。

—座右の銘を教えてください。

好きな言葉は「巧詐不如拙誠」(こうさせっせいにしからず)。上手に偽り飾るよりも、技は拙くても誠実なものの方が人の心に響くという意味です。今後、何ごとにも真摯な態度で臨んでいければと考えています。

トピックス

まちづくりに貢献。本会副会長武村実氏、平成23年度国土交通大臣表彰を受賞

本会副会長の武村実氏が、永年にわたり建築設計及び工事監理等に精励すると共に、本会の役員として業界の発展に寄与した功績が評価されて、平成23年度建設事業関係功労者表彰(国土交通大臣表彰)を受賞され、昨年10月28日に、柴会長をはじめ有志により祝賀会が開催されました。

武村氏は建築士会の役員としての活動のほか、桜川市景観審査会の副会長として、特に真壁地区のまち並み、伝統的建築物の景観維持に尽力を続けてこられました。武村氏および武村氏を中心とする真壁地区の活動は、平成20年に国土交通大臣より「まちづくり功労者賞」、同年に住宅生産

振興財団より「住まいのまちなみ優秀賞」、平成22年には建築士会連合会



柴会長の祝福を受ける武村副会長(左)

より「まちづくり奨励賞」など多くの賞を受賞されています。また、これらの活動を受け、平成21年には真壁地区が「歴史的風致維持向上計画」地域として国から認められています。

武村氏の受賞を心からお喜び申し上げます、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。



被災された県民の方々の住宅建設を支援する「安心・安全な木造住宅プロジェクト」
被害の大きかった北茨城市で住宅相談会実施。

平成 23 年 12 月 15 日(木) 北茨城市役所

昨年3月の東日本大震災により被災された地域の方々に対し住宅建設を支援するプロジェクトが昨年9月に発足した。

このプロジェクトは、住宅が全壊または半壊などの大きな被害を受けた方々、または、世帯構成の変化により高齢者のみの世帯となった方々に対し、新しい住宅の建設を支援するプロジェクトで、低廉かつ安全な住宅建設プランを提供するとともに、優良な工事監理者及び施工者を紹介し、住宅被災者等の住宅再建を支援するという試み。

プロジェクト発足後15件程の相談があり、現在4件程が事業を検討中。さらなる支援展開のため住宅相談会を開催することを企案。その具体的な相談会が昨年12月15日に県内では最も被害の大きかった北茨城市の市役所ロビーにおいて行われた。現在、被害の大きかった沿岸部の北茨城市から神栖市までの15市町村を中心に、作成したパンフレットと参考プラン集を配布し、新聞紙面を利用したPR活動と、水戸市をはじめ協力いただける市町村の広報紙に掲載いただき、広報活動に努めています。今後、日立市などにおいても現地での住宅相談会を開催する予定です。

MONEY PLANNING SHEET ~概要資金計画のご提案~					
顧客概要	建築主	住リガ所	自己所有車		自己所有車
	氏名	氏名	世帯主	妻	子供
土地	自己所有土地	坪	に建てる予定		土地の区域
	既存建物解体有無	有り/無し			別荘/別荘
大項目	中項目	小項目	規格・仕様	金額	大項目
	新築建物基本プラン	土地	坪	建ぺい率 %	
[A] 工事費	建物	坪	標準仕様の仕上げとする。	諸経費含む	[E] 追加・変更
		坪	電気・ガス・水道の引込金額を含む。(敷地条件により異なる) 消費税除く 地震改良・浄化槽等、地域により必要なものは別途とする。	諸経費除く	
[B] 解体撤去工事費	[A] 工事費計	建物解体費	撤去・運搬・処分費含む	諸経費含む	[E] 追加・変更
	外構・植栽撤去費	撤去・運搬・処分費含む	諸経費含む		
[C] 設計監理その他業務費	[B] 解体・撤去費計	設計費	諸経費含む		[E] 追加・変更
	監理費	諸経費含む			
申請手数料	敷地	各種申請	建築確認申請手数料		[E] 追加・変更
		中間検査申請手数料			
		完了検査申請手数料			
		開発行為許可申請(都市計画法29条許可) 建築法27条申請			

資金計画をわかりやすく示す「マネープランニングシート」



「安心・安全な木造住宅」完成イメージ図



震災後の茨城の“まちづくり”を検証する

「まちづくりシンポジウム2011」を開催

平成23年11月15日(火) 県民文化センター

茨城県主催による“まちづくりシンポジウム2011”が去る11月15日(火)県民文化センターにて開催された。昨年3月11日の東日本大震災による被害は茨城県内でも甚大であり、シンポジウムの大きなテーマを「いばらきの復興まちづくり」として、基調講演は、つくば大学大学院システム情報工学研究科教授 谷口守氏をお招きし、「災害に強い都市構造を考える」のテーマで講演いただいた。

さらに谷口氏がコーディネーターとなり、茨城県内で大きな被害を受けた水戸市、北茨城市、鹿島市、潮来市の行政担当者にパネリストとして登場願ひ、被害状況及び住民に対しての対応、防災への取り組みなどについてパネルディスカッションを行った。

水戸市では震災復旧方針・公共施設等復旧事業工程表を早期に作成し対応したこと、潮来市の日の出地区では地域住民、消防団、ボランティアら1500人が参加して復旧作業に当たったこと、北茨城市及び鹿島市が受けた津波、液状化の被害の大きさと対応事例など、盛りだくさんの内容であった。結論として、今回のような緊急を要する被害に対しては、国、県の補助が決定していなくても、早急に改修工事を実施することが、良い結果に結びつくと

いうことであった。

次に、民間から、ひたちなか海浜鉄道(株)取締役社長 吉田千秋氏に登場願ひ、鉄道が不通になり、お客様の足を確保するためにバスを臨時に発車させて奮闘された様子をお話いただいた。

続いて、本会まちづくり委員会の梶ひろみ委員長が、委員会としての取り組みとして、以前発刊した「体感ルートガイドマップ」に掲載された“むかしの家”の被災調査及び相談活動を行った実績を報告した。今後もまちづくり委員会が住民と行政との調整役となり、住民と一体となつての提案を行いながらまちづくりを支援する重要性について述べた。

それぞれの講演、意見について共通していたのは、“震災を繰り返してはいけない”ということ。地域住民が、訓練に参加したり、防災に関する知識・技術を習得したり、家の耐震補強、家具の固定などについて意識を持ち続けることが重要だと感じた。

最後になるが、今回のシンポジウム参加者は主に社会人であり、学生の姿があまり見えなかった。災害体験・科学的知識の伝承、防災教育の重要性を考えた時、若い世代の参加がぜひとも必要であるのではないかと思う。次回の課題としたいと考える。



日帰り見学会報告

「羽田国際線ターミナル」と「浅草」見学

平成23年11月3日(木・祝)

今回の見学会は羽田国際線ターミナルと浅草で日本の魅力をあらためて認識できる良い機会となりました。

「羽田空港国際線旅客ターミナル」は日本の新しい空の玄関口として2010年に開業、筋雲をイメージしたという大屋根を持つ鉄とガラスに囲まれた大空間の中に、江戸の町民文化を象徴するような町並みを再現した「江戸小路」や現代日本のカルチャーを揃えた店舗群を擁する「TOKYO POP TOWN」、これら新旧それぞれの日本をコンパクトに凝縮したターミナル内施設「E・DO MARKET PLACE」は施設のコンセプトと融合したショップが目を惹き付け、海外からの旅行者はもとより日本人にも新たな発見をもたらしてくれる濃密な空間でした。子供達はショップでのおもちゃ・お菓子の物色と晴天下の展望デッキでの飛行機見物に夢中で、時も場所も忘れそうな不思議スポットで家族ともども愉しめました。昼食は空港エリア内にある羽田エクセルホテル東急でランチブッフェ。目移りする豊富なメニューに箸が止まらず、気付くとお腹が苦しくなる程で、子供たちは数々のデザートに舌鼓を打っていました。

午後は「東京時代まつり」が催される浅草へ、大行列によって表現される一大絵巻を人垣の合間から観覧。華やかさに目を奪われつつ、浅草寺起源から江戸開祖・町人文化・文明開化へと次々と移りゆく歴史絵巻行列に時代の変遷を感じワクワクしながら楽しみました。仲見世を散策してはその独特の町並みを体感、庶民文化と共に発展してきた地域社会と参拝客との間に漂う適度な距離感、気取らないサッパリとした雰囲気から醸し出される心地よさを感じました。

浅草は歴史の中で庶民によって醸成され、一方の江戸小路は町人文化を再現し現代に融合させて造られたもの。生い立ちは異なれど、いずれも内外を問わず多くの人に親しまれていることから、人にとって心地良い町であるという共通点がみられるように思います。町づくりの中心に「人ありき」——そういった思いが特に強くなりました。

今回もまたたいへん意義深い見学会で、こうした機会に家族で参加できたことにとても喜んでおります。委員の皆さんをはじめ多くの方のお世話に与りありがとうございました。またの企画も楽しみにしております。



わくわくセミナー

「暮らしを楽しむテーブルコーディネート」に参加して

完成したコーディネートの発表風景「すてきですね〜!」

平成23年11月30日に土浦三中地区公民館において行われたテーブルコーディネートのセミナーに参加しました。

講師の先生は、水戸市でテーブルコーディネートサロン“フェリエ”を主宰されている藤江理英子氏。テーブルコーディネーターの他にも食空間コーディネーターやカラーコーディネーターなどの資格をお持ちです。

まず、前半の1時間はテーブルコーディネートの基本から。どんなものを使うか？ テーマやコンセプトはどうするか？ 配色バランスは？ 色から受けるイメージは？ そして、セッティングするときの基本の置き方などを教えていただきました。

それから、藤江先生が今までに実際にコーディネートをしたテーブルの写真を紹介していただき、テーブルクロスやお皿の色を変え、小物の使い方を工夫することにより、子供のお誕生会、旦那様とお友達のための食事会、クリスマスパーティー…などなど、自宅にいながらレストランの様なシーンを演出できることを学びました。

後半は自分たちでコーディネートをする実習。藤

江先生が持って来てくださった、色とりどりのテーブルクロス、ナプキン類や、数々の食器、カトラリー、小物の中から好きなものを選び、テーマに沿ってコーディネートしていくというもの。私たちは5人1組の3チームに分かれて行ったのですが、5人でわいわい、いろいろなものを手に持ち、あーでもないこーでもないでセッティング。思っていたよりも短時間で、それぞれの個性が光る3チーム3様のまったく違うテーブルコーディネートが出来上がりました。あっという間の楽しい2時間でした。

テーブルコーディネート＝難しそうとか、いろいろなものを買って揃えないと出来ないもの、と思っていましたが、暮らしの中にある身近なものを利用し、普段の生活にちょっとずつ取り入れて、おしゃれな食空間を作りたいと思います。



セッティング説明中の藤江先生



女性部報告

県央支部青年部
李相鉄



ラブアークセミナー報告 「そうだ、美術館へ行こう！」

豊かな自然環境のなかにあるDIC川村記念美術館

平成23年10月29日に実施された、千葉県にある2つの私設美術館の見学会に参加してきました。

今回は県女性部が軸となり、県央支部の女性部・青年部も加わっての3部による合同開催ということもあって、26名という多くの参加者を得てにぎやかな見学会となりました。

終日観光バスでの移動となりましたが、清々しい秋晴れの中、とても気持ちの良いドライブで、車内でもそれぞれが話に花をさかせて、長い移動も良い親睦の時間となりました。

2つの私設美術館のうち、午前中に訪ねたのは佐倉市にある『DIC川村記念美術館』です。

この美術館は、豊かな森林に囲まれた自然あふれる環境の中にあります。

地形の隆起に沿って計画された美術館の建物に加え、レストラン棟と噴水のある池（なんと調整池だそうです！）、それぞれを繋ぐ散歩道と、ちょっとしたリゾート地のようなシチュエーションです。

美術館がこの静かな環境に溶け込んでいて、とても気持ちの良い施設だと感じました。

到着して間もなくDICの方々から丁寧な案内を受け、いざ美術館のなかへ。

館内では学芸員の方が作品の説明をしてくださり、絵画や彫刻、モニュメントの様な屋外展示品まで、数多くの作品に接することができました。

展示品の多くは、ルノワールを代表とした印象派の画家の作品をはじめ、現代アートや抽象画とバラエティに富んでいます。それぞれの作品に合った展示室が構成され、機能的な動線にただただ関心するばかりでした。

その後、建築の観点から、この施設の計画に携われた(株)建築設計「老有自」の代表 根本氏の短い講義を聴かせて頂きました。

講義では、美術館の設計者である海老原氏と美術館長の川村氏のこだわりや想い、絆、美術品に対する情熱などを伺いました。

講義でも感じることができましたが、実際展示品を鑑賞している際、その個々の作品に向けられたこだわりと情熱が建築にストレートに影響し、その作品に対してのその空間というものが明確な形で形成されていました。特に抽象的で巨大な絵画の部屋

は、その大きさから来る距離感や照明計画、また動線といったところに、建築自体が演出する効果を感じることができました。

公立の美術館ではなかなか感じる事ができない、個性的な構成がとても参考になりました。

この美術館の最後は、昼食時間ということもあって、講義をしてくださった根本氏と現館長、DICの方々と施設内のレストランで美味しい昼食をとることができました。根本氏からは同業者としての楽しい裏話なども聞かせていただき、一つの施設ができて上がるまでの楽しさや難しさを教えていただけた気がします。

午後はいよいよ2つ目の私設美術館『ホキ美術館』です。

ホキ美術館は千葉市内に位置し、住宅地や運動公園に囲まれた立地、つまり午前を訪れた川村美術館とは対照的なたたずまいの美術館です。

建築的なところでは、このホキ美術館のシンボルとも言える30mのキャンティレバーが見る者を圧倒します。

鉄板を四角い筒状に折り曲げて造られたその浮いた空間は紛れも無く展示室！ その展示室と外気を隔てるガラスの外側には、住宅地と公園の緑が広がり、まるで巨大な望遠鏡のようでした。とは言ってもそこは1階で、半地下と地下に展示室やカフェコー



巨大なキャンティレバーがシンボルのホキ美術館

ナーが設けられています。

住宅地が広がる立地からも想像できるかもしれませんが、そこは住居系の用途地域のため、高さを最小限までしぼってあるのも印象的でした。

もう一つ特徴的なところでは、美術館という用途では珍しく、自然光(しかも直射光)を取り入れた展示室です。学芸員の方に解説していただいたなかで「絵画が日焼けすればまた作者の方に補修してもらえますので…」という言葉は自分の中では衝撃的でした！(笑)

展示された作品は風景画や模写、人物画がほとんどで、その絵画はどれも、まるで写真のような絵画で、観る一枚一枚に吸い込まれてしまいそうな作品ばかりです。全て油絵具で描かれたものとは思えないくらい繊細で、至近距離で線の一本一本を確認して、本当に絵画だと分かるくらい。それでいて写真とは違う光や空気を感じさせてくれる素晴らしい作品ばかりでした。

それが故に、補修するのは本当に大変な作業なんだろうと想像しつつも、川村美術館や他の美術館とは違った、ホキ美術館ならではの作品と美術館の良い関係が保たれていると感じました。

2つの異なる性格の美術館を1日で観て回る機会はそうそうないと思いつつ参加した今回の見学会。想像していた以上に感じる事・知ることが多く、建築することの中にあるドラマや性格がどれほど大切か、改めて感じる事ができた最高の見学会となりました。

最後に、普段めっきり歩かなくなった生活の私、2つの美術館内を歩き回ったせいで、帰りのバスではほとんど夢の中でした。運転手さん、長い道のりをありがとうございました。

DIC川村記念美術館、ホキ美術館の関係者の方々に改めて感謝しながら、このレポートを終わりたいと思います。とても楽しい1日をありがとうございました。

自然・人・文化・社会

—サステイナブル建築を目指して—

株式会社 天建築設計事務所
〒310-0024 茨城県水戸市備前町6-73NKビル
PHONE:029.303.3900 FAX:029.300.7567

代表取締役 天 茂彦
e-mail:ama-archi-design@s9.dion.ne.jp
URL:http://www.ama-architect.com/index.htm



有限会社

浅野建築設計事務所

代表 浅野 祐一郎

〒310-0851 茨城県水戸市千波町2819-13
TEL:029-291-6918 FAX:029-291-6928
E-mail: ezj03106@nifty.com

雨。
その一滴が、
建物に大敵。

業務案内

- 一般建築、中高層ビルに関する防水全般
- 雨漏り、水漏れ調査及び施行
- 外壁吹付工事（割れ補修）
- 各種工事に関するメンテナンス

植田防水工業株式会社

本社:水戸市八幡町10-71 TEL 029 (227) 4181 FAX 029 (225) 3201

<http://www.uedabousui.com>

メールアドレス JDT06321@nifty.ne.jp

梶ひろみ建築設計室

代表 梶 ひろみ

architect



〒313-0055 常陸太田市西二町2185の5

phon and fax 0294-72-2221 E-mail kaji_mekiki@ybb.ne.jp



株式会社 K 建築設計事務所

代表取締役 小室 克己

(社)茨城県建築士事務所協会会員

(社)茨城県建築士会会員

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目2881-18

TEL (029) 254-7000

FAX (029) 254-0008



水戸駅南口直結。多彩なニーズに対応する未来型都市型ホテル



HOTEL TERRACE the GARDEN MITO

〒310-0015 水戸市宮町1-7

Tel. 029-300-2500(代表) FAX. 029-300-2545

<http://www.hotel-terrace.com>

希望と期待に満ちた新しい門出を
春薫る一皿一皿に想いを込めて...

春の歓送迎会プラン

2012.3.15[thu] ~ 5.11[fri]

お一人様 5,000円 ~ 8,000円 (税サ込)

●フリードリンクプラン
お一人様 2,000円 (税サ込) / 2,500円 (税サ込)

和洋会席 / 和洋中会席

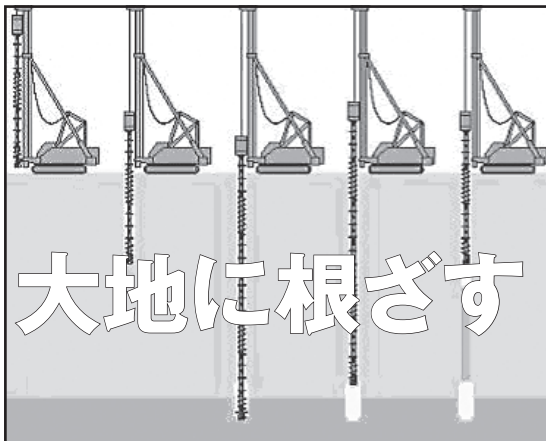
ホテルレイクビュー水戸

 HOTEL LAKE VIEW MITO

〒310-0015 茨城県水戸市宮町1-6-1
●JR水戸駅(南口)下車徒歩3分 ●駐車場240台

お問い合わせ・ご予約 029-224-2727

URL <http://www.hotellakeviewmito.com>

前田製品販売株式会社

■茨城支店

茨城県水戸市平須町 1828-223 〒310-0853

TEL.029-305-3371 FAX.029-350-2163

<http://www.maeta.co.jp/>

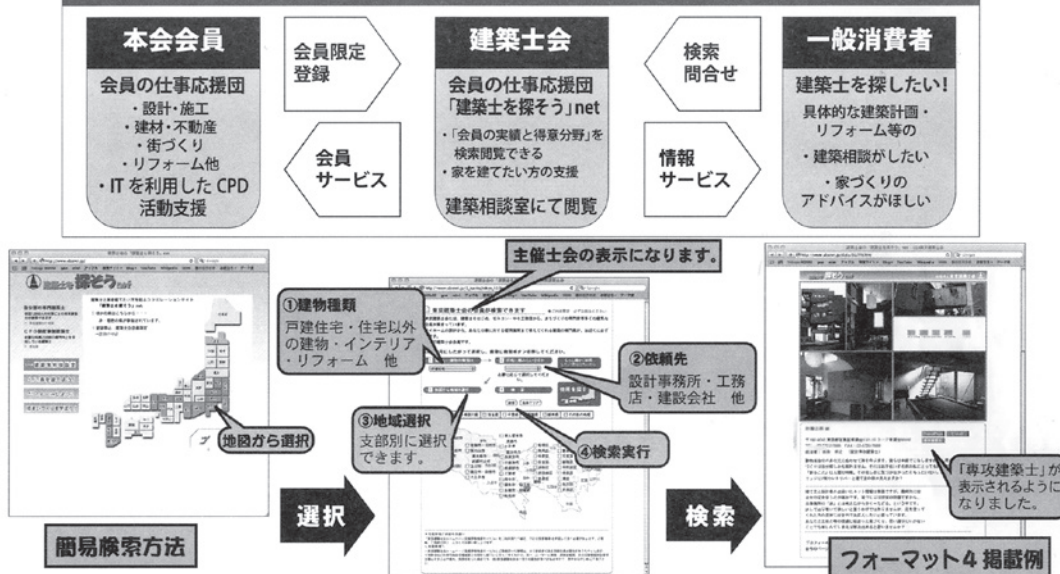
〒310-0836
水戸市元吉田町122-1メルヘン水戸ビル2F
T029-304-1818 F029-304-1822
E-mail : moveas@amber.plala.or.jp

専攻建築士・CPD登録者会員情報公開サービス

会員の仕事の応援団「建築士を探そう」net
<http://www.abanet.jp>

- | | | | |
|-----------|---|-----------|--|
| 発信 | ホームページを使って一般の方々に建築士の活動(CPD登録)を発信していきます。 | 簡単 | 申込書に必要な事項を記入していただくだけです。データは東京建築士会が入力します。 |
| 支援 | 家を建てたい人と建築士を支援する総合サイトを目指します。 | 限定 | 建築士会会員限定！だから格安で、しかも管理もします。 |

会員の仕事応援団「建築士を探そう」netの仕組み



会員の仕事応援団「建築士を探そう」netフォーマット・費用

- | | | |
|--|---|---|
| フォーマット1
●文字情報による業務詳細案内
申込書「文字データ」
入力費 1,000円 → 0円
管理費 300円/月 (3,600円/年) | フォーマット2
●作品写真+文字情報による業務詳細案内
「写真2枚+文字データ」
入力費 3,000円 → 1,000円
管理費 300円/月 (3,600円/年) | フォーマット3-4
●作品写真+文字情報による業務詳細案内
「写真5枚+文字データ」
入力費 4,000円 → 2,000円
管理費 300円/月 (3,600円/年) |
|--|---|---|

※現在の登録内容変更(写真・事務所の特徴、履歴内容等)のバージョンUPが無料!

登録・申込

♪ ホームページからお申し込みください ♪

問合せ・申込 [主幹事建築士会] (社) 東京建築士会 (鈴木)
TEL : 03-3536-7711 FAX : 03-3536-7712 Eメール : it@tokyokenchikusikai.or.jp

K 有限会社 クボタ建築設計事務所

(社)茨城県建築士会 石岡支部長

代表取締役
一級建築士 久保田 吉 文

事務所 〒315-0001 石岡市石岡3055-9
TEL 0299-23-9305
FAX 0299-23-9307
E-mail: ykubota@olive.ocn.ne.jp
URL <http://www3.ocn.ne.jp/~ykubota/>

平成22年度 1級建築士 最終合格占有率

業界実績 No.1

合格占有率

1級建築士
最終合格者数

4,476人中

当学院生
合格者数

2,243人

50.1%

合格者の2人に1人は、
日建学院の受講生です。

高い合格率には
「理由」があります！

『日建学院生の使っている教材をみてみませんか？』

『日建式の学習指導(受講形態)を知っておきませんか？』

『高合格率のカリキュラムが気になりませんか？』

担当アドバイザーがしっかりとご説明致します。
あなたの「目」で「耳」でちゃんと確認して下さい。きっと『合格』が見えて来ます！
最寄りの日建学院までお気軽にご連絡下さい！

全国47都道府県

日建学院

建築士累計輩出数
27万人超！

つくば校

〒305-0817 茨城県つくば市研究学園D10街区4 高谷ビル3F
研究学園駅より徒歩3分

☎ 029-863-1166 FAX 029-859-5369

水戸校

〒310-0803 茨城県水戸市城南2-11-15 日建ビル
水戸駅より徒歩で約10分

☎ 029-226-5100 FAX 029-226-2051

左 根

塗り壁を使った快適な住空間の提供

- 珪藻土 ■
- 漆喰 ■
- 聚楽 ■
- 洗い出し ■
- リシン ■



株式会社 根子左
URL <http://www.nekosa.co.jp/>



茨城県水戸市千波町2830-5 TEL. 029(241)4057 FAX. 029(241)7071

建築物の足もとを揺るぎない ものにするための 「支持力」を提供します。

(営業品目)

パイル製品：高支持工法に対応 Fc=105N/mm² Fc=123N/mm² シリーズ杭
(PHC ST SC PRC 拡頭杭 節杭 ※厚型・特厚型も対応)
PHC ST SC DAM BF (摩擦杭) その他

認定工法：HYBRIDニーディング工法 ($\alpha=336 \sim 880$ ※設計拡径比=1.2 ~ 2.0)
SUPERニーディング工法 (さらに支持力が大幅UP! $\alpha=600$)
SUPERDANK工法 (中堀) $\alpha=380$
ニーディング工法 DANK工法 (中堀) BFK工法

※ 設計のお手伝いもいたします。(是非お試してください)

<http://www.m~sekisan.co.jp/>

三谷セキサン株式会社

茨城営業所 茨城県水戸市大町3-1-26 TEL 029-221-7768
FAX 029-221-7749

美しい未来へ・・・ IIAE

株式会社 日立建設設計

Hitachi Architects & Engineers Co.,Ltd.

取締役社長 佐藤 有紀

茨城支社長 山本 啓二

茨城支社 〒312-0045 ひたちなか市勝田中央10-7 TEL (029) 272-9071

本社 〒101-0047 東京都千代田区内神田3-11-7 TEL (03) 6757-7100



建築と住まいのことなら!

財団法人 茨城県建築センター

住まいづくりに関する手続きを一元的に扱っています。
迅速な対応とともに、サービスの提供として次のことを行っています。

- ☆ 当センターのご利用の多いユーザーには『**建築確認手数料の後納制度**』があります。
- ☆ 『**レターパック等にて確認申請**』を受付けております。
確認引受書と併せて新しいレターパックを返却させていただきます。

1 建築確認・検査業務

業務の範囲

- 全ての建築物の確認、中間検査及び完了検査
- 建築設備の確認及び完了検査
- 工作物の確認及び完了検査

完了検査率アップ!
検査済証は適法建築物の証です。

2 住宅瑕疵担保責任保険業務

- まもりすまい保険 (統括事務機関) 財住宅保証機構
- あんしん住宅瑕疵保険 (取次店) ㈱住宅あんしん保証
- JIOわが家の保険 (取次店) ㈱日本住宅保証検査機構
- ハウスプラスすまい保険 (取次店) ハウスプラス住宅保証㈱

3 証券化支援事業業務



- 住宅金融支援機構の融資住宅による設計審査・現場審査業務

4 住宅性能評価業務

住宅性能評価制度のメリット

- 住宅の性能の相互比較が出来ます
- 設計どおりの施工がされるよう第3者機関(当センター等)による検査が受けられます
- 円滑・迅速で専門的な紛争処理が受けられます

5 長期優良住宅の認定に係る審査業務

- 長期優良住宅建築計画の技術的審査業務

6 構造計算適合判定業務

- 全ての建築物の適合判定業務

7 住宅・建築の相談業務

- 住宅・建築に関する相談のできるコーナーを本部及び県南事務所に設けています
- 毎週第1・第3土曜日10:00~16:00(12:00~13:00 昼休み)

8 エコポイント対象住宅証明発行業務



<http://www.ibakenju.or.jp/>



財団法人 茨城県建築センター

※営業時間/午前9時~午後6時まで(第2・4・5土曜及び日・祝日を除く)

お問い合わせは

■本部事務所(水戸市)

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30
TEL,029-305-7300 FAX,029-305-7310

■県南事務所(つくば市)

〒305-0035 茨城県つくば市松代1-18-1
TEL,029-860-8088 FAX,029-860-8090

■県西事務所(古河市)

〒306-0126 茨城県古河市諸川1064-1三友ビル5F
TEL,0280-75-2600 FAX,0280-75-2603

社団法人 茨城県建築士会 会員の皆様へ

迎春

新春を迎え、平素のご厚情に深くお礼を申し上げますとともに
会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。
本年もどうぞ宜しく願ひいたします。

平成24年 2月吉日

財団法人 茨城県建築センター

会長 柴 和伸

職員 一同

辰





設計 & 監理

株式会社 柴 建築設計事務所

水戸市泉町3-1-28 第二中央ビル7階

TEL.029-227-0222[代]

FAX.029-231-0960



G1TOWER(西側面)



社団法人
茨城県建築士会

<http://homepage1.nifty.com/ishikai/>